



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月7日

上場会社名 ユニプレス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5949 URL https://www.unipres.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役 社長執行役員 (氏名)吉澤 正信  
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)斉藤 直樹 (TEL) (045) 470-8631  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	242,925	0.8	13,892	△21.6	14,477	△23.6	8,839	△22.8
30年3月期第3四半期	241,106	7.3	17,716	14.3	18,938	26.4	11,451	30.9

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 8,647百万円 (△49.4%) 30年3月期第3四半期 17,078百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	184.60	184.38
30年3月期第3四半期	239.51	238.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	246,856	160,190	60.3
30年3月期	246,779	154,678	58.5

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 148,893百万円 30年3月期 144,266百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、30年3月期の総資産及び自己資本比率につきましては、遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	22.50	—	32.50	55.00
31年3月期	—	27.50	—		
31年3月期(予想)				27.50	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	330,000	△0.3	20,500	△21.3	21,000	△20.6	12,500	△21.6	261.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期3Q	47,944,973株	30年3月期	47,866,573株
② 期末自己株式数	33,080株	30年3月期	33,080株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	47,884,837株	30年3月期3Q	47,810,976株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりその達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、〔添付資料〕2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高につきましては得意先の減産影響はあったものの、円安に伴う為替影響等により2,429億円（前年同期比18億円増、0.8%増）となりました。利益につきましては、営業利益は138億円（同38億円減、21.6%減）、経常利益は前年同期の為替差益が差損に転じたこと等により144億円（同44億円減、23.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は88億円（同26億円減、22.8%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 日本

得意先の減産影響等により、売上高は741億円（前年同期比37億円減、4.8%減）となったものの、セグメント利益（営業利益）は合理化効果等により62億円（同1千万円増、0.3%増）となりました。

#### ② 米州

得意先の減産影響及び為替影響等により売上高は730億円（同37億円減、4.8%減）となり、セグメント利益は16億円（同27億円減、62.0%減）となりました。

#### ③ 欧州

為替影響等により、売上高は279億円（同11億円増、4.1%増）となったものの、セグメント利益は5億円（同2億円減、32.5%減）となりました。

#### ④ アジア

為替影響等により、売上高は678億円（同81億円増、13.6%増）となり、セグメント利益は急激な増産に対応する費用の発生もあり59億円（同1億円増、2.2%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金が74億円減少したものの、たな卸資産が32億、有形固定資産が30億円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ7千万円増の2,468億円となりました。

負債につきましては前受金等その他流動負債が50億円増加したものの、支払手形及び買掛金が100億円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ54億円減の866億円となりました。

純資産につきましてはその他の包括利益累計額が14億円減少したものの、利益剰余金が59億円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ55億円増の1,601億円となりました。自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.8ポイントプラスの60.3%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年5月10日に公表いたしました予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	32,788	30,939
受取手形及び売掛金	54,249	46,844
たな卸資産	24,089	27,293
その他	9,188	10,238
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	120,315	115,314
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,829	28,535
機械装置及び運搬具（純額）	51,654	52,573
土地	7,719	7,240
建設仮勘定	11,866	14,773
その他（純額）	12,756	11,712
有形固定資産合計	111,826	114,835
無形固定資産		
投資その他の資産	2,591	2,617
投資有価証券	6,333	6,676
その他	5,720	7,423
貸倒引当金	△8	△10
投資その他の資産合計	12,045	14,089
固定資産合計	126,464	131,542
資産合計	246,779	246,856
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,751	26,682
電子記録債務	3,584	3,700
短期借入金	11,830	12,477
未払法人税等	2,046	3,017
賞与引当金	3,203	1,957
その他の引当金	114	83
その他	17,162	22,224
流動負債合計	74,694	70,143
固定負債		
長期借入金	1,313	1,216
その他の引当金	225	234
退職給付に係る負債	9,733	9,203
その他	6,134	5,868
固定負債合計	17,407	16,522
負債合計	92,101	86,666

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,080	10,136
資本剰余金	13,427	13,483
利益剰余金	131,655	137,621
自己株式	△22	△22
株主資本合計	155,140	161,218
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△130	△382
為替換算調整勘定	△3,003	△4,714
退職給付に係る調整累計額	△7,739	△7,228
その他の包括利益累計額合計	△10,874	△12,324
新株予約権	55	25
非支配株主持分	10,356	11,271
純資産合計	154,678	160,190
負債純資産合計	246,779	246,856

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	241,106	242,925
売上原価	203,585	209,430
売上総利益	37,521	33,494
販売費及び一般管理費	19,804	19,602
営業利益	17,716	13,892
営業外収益		
受取利息	617	842
受取配当金	62	67
為替差益	566	—
持分法による投資利益	89	—
受取賃貸料	225	263
その他	307	317
営業外収益合計	1,868	1,490
営業外費用		
支払利息	446	414
貸与資産減価償却費	136	163
為替差損	—	61
持分法による投資損失	—	161
その他	64	104
営業外費用合計	647	905
経常利益	18,938	14,477
特別利益		
固定資産売却益	76	37
新株予約権戻入益	1	1
特別利益合計	78	39
特別損失		
固定資産処分損	258	210
減損損失	620	—
特別損失合計	879	210
税金等調整前四半期純利益	18,137	14,305
法人税等	5,351	4,641
四半期純利益	12,785	9,664
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,334	824
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,451	8,839

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	12,785	9,664
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	175	△239
為替換算調整勘定	4,012	△961
退職給付に係る調整額	25	511
持分法適用会社に対する持分相当額	79	△327
その他の包括利益合計	4,292	△1,016
四半期包括利益	17,078	8,647
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,988	7,388
非支配株主に係る四半期包括利益	2,089	1,258

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

IFRS第9号「金融商品」の適用

米国を除く在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第9号「金融商品」を適用しております。当該会計基準の適用が当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用

米国を除く在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。当該会計基準の適用が当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

また、本会計基準の適用に伴い、四半期連結貸借対照表の表示方法を変更しております。

この結果、従来の会計基準を適用した場合と比較して、当第3四半期連結累計期間の四半期連結貸借対照表において、「売掛金」が2,035百万円増加し、「流動負債」の「その他」に含まれております「返金負債」が2,035百万円増加しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

これに伴い、前連結会計年度の連結貸借対照表は当該会計基準の改正等を遡って適用した後の数値となっております。

## (セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	77,846	76,731	26,796	59,731	241,106	—	241,106
セグメント間の内部売上 高又は振替高	14,083	83	0	1,783	15,951	△15,951	—
計	91,930	76,815	26,797	61,514	257,057	△15,951	241,106
セグメント利益又は損失 (△)	6,279	4,416	770	5,828	17,293	422	17,716

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「欧州」セグメントにおいて、当社の連結子会社であるユニプレスロシアの固定資産について減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において620百万円であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	74,131	73,023	27,903	67,866	242,925	—	242,925
セグメント間の内部売上 高又は振替高	19,778	79	21	2,139	22,019	△22,019	—
計	93,910	73,103	27,924	70,005	264,944	△22,019	242,925
セグメント利益又は損失 (△)	6,295	1,676	520	5,957	14,449	△556	13,892

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。